

○社会人経験者保育士専門試験問題例

問1 「子どもの権利条約」(正式名称:児童の権利に関する条約(Convention on the Rights of the Child))に関する次のA～Eの記述について、(1)～(10)にあてはまる語句を下記の語句群から選び、記号で答えなさい。

- A 子どもの権利条約の基本的な考え方は「(1)の禁止」「子どもの(2)の利益」「(3)及び発達に対する権利」「子どもの意見の尊重」の4つで表される。
- B これらの原則は、日本の子どもに関する基本的な法律である「(4)」にも取り入れられている。
- C 子どもの権利条約は、子どもは「弱くて(5)から守られる存在」という考え方から、それだけではなくて、子どもも「ひとりの人間として人権(権利)を持っている」、つまり、「権利の(6)」だという考え方に大きく転換させた条約である。
- D 国は、法律や政策などを通じて、条約に定められた(7)の実現につとめること、また、条約には、子どもを育てる責任はまず(8)にあり、(9)がそれを支援するということも書かれている。
- E 保育所保育指針第5章、保育所職員に求められる専門性の項目においては、子どもの(2)の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行うためには、職員一人一人の(10)、人間性並びに保育所職員としての職務及び責任の理解と自覚が基盤となる、と記されている。

【語句群】

ア. こども基本法	イ. 親	ウ. 環境	エ. 生命、生存
オ. 国	カ. おとな	キ. 成長	ク. 子どもの権利
ケ. 児童福祉法	コ. 差別	サ. 価値観	シ. 主体
ス. 倫理観	セ. 最善	ソ. 安心	

問2 3歳児(3歳6か月)のAちゃんは、保育所に入所して2か月になるが、保育所では自分から言葉を発することは少なく、友だちの遊んでいる様子を見ているだけのことが多い。先日、保護者から「毎朝、保育所に行きたくないと言うので困っている。」と相談があった。担任として、子どもや保護者へどのように対応するか、あなたの考えを述べなさい。

問3 次のエピソードから、子どもの主体的な遊びが更に豊かな広がりをもつものとなるよう、担任として、その後の保育をどのように展開するか。年齢の発達の特徴を踏まえ、「育ってほしい力」、「保育士の援助」及び「予想される子どもの姿」の3つの観点から、あなたの考えを述べなさい。

(エピソード)

5歳児クラス20人で所外活動をしていた際、数人が小石に興味を持ち、拾い始めた。「この石きれい、シマシマの模様があるよ」「この石丸い、ツルツルだ」「大きい石みつけた、あれ?でもこの石、軽い」「たくさん拾った。もう持てないよ。だれか手伝って」と小石集めの輪が広がり、集めた小石を保育所に持ち帰った。

問4 保育所において、子ども主体の保育を展開することが重要であり、保育所保育指針では、「子どもの主体的な活動を促すためには、保育士等が多様な関わりをもつことが重要であることを踏まえ、子どもの情緒の安定や発達に必要な豊かな体験が得られるよう援助すること。」と記載されている。子どもの主体的な活動を促すための保育士の援助について、これまでの経験を踏まえ、あなたの考えを述べるとともに、今後あなたがめざす保育について述べなさい。(800字程度)